三農同窓会報

発　行　所
十和田市大字相坂字高清水78-92
0176 (23) 5341
青森県立三本木農業恵拓高等学校
同窓会事務局

「各支部の活動再開について」

三農同窓会長　斗沢　栄一

三農同窓会会員の皆様には、日頃より同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の6月24日に開催された令和5年度三農同窓会総会において、蛯沢正勝前会長がご退任され、その後任として会員の皆様のご推挙により、第12代同窓会長に選任されました昭和40年度農業科卒業の斗沢栄一と申します。よろしくお願い申し上げます。

蛯沢前会長には2年間大変お疲れ様でした。先の教育改革等で、学校が統合する際各学校では閉校式を行っておりますが、三農は閉校式を行う流れとなっておりましたが、三農は新しい学校になっても、これまでの歴史と伝統をつなげていくのだという強い思いから、蛯沢前会長が県教育委員会と話し合いを重ねてきました。その結果、令和5年2月「三本木農業高校　継承記念セレモニー　～続く三農の誇りと歴史～」というタイトルで式典を実施いたしました。三農のためご尽力してくれたことに、心より感謝とお礼を申し上げます。

昨年の6月に実施された令和5年度の総会において、総会は例年6月の第4土曜日に開催されてきましたが、農作業特に特産のニンニクの収穫時期と重なり出席がかなわない同窓生も多く、総会時期の変更をお願いしたいとの意見が出されました。昨年12月5日の第1回役員・事務局長合同会議で検討し、令和6年度から総会を6月の第2土曜日に実施することに決定致しましたので、会員の皆様にお知らせいたします。

三農は明治31年に創立され令和6年で創立126年になります。創立130周年記念行事は令和10年に開催されることになっております。

昨年から新型コロナウイルス感染症の活動・行動等が規制緩和されましたので、今まで休止していた各支部の活動を活発にしていただきたいと思っております。また、今年度は、三農恵拓の生徒が初めて卒業し、来年度は新たな三農同窓会としての第一歩の年となります。これまでコロナ禍で阻まれていた会員各自の活動も活発にしていただければと思っております。

最後になりますが、母校三農の発展のために微力ではございますが精一杯努力してまいりますので、会員の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申しあげますとともに、皆様の今後のますますのご活躍をご祈念申し上げます。

「三農の発展を願う」

校長　中村　豊

同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本校は、今年で創立百二十五年目を迎えていますが、去る令和5年2月27日に「三本木農業高校継承記念セレモニー～続く三農の誇りと歴史～」を挙行いたしました。授業や学校行事、部活動や農業クラブ活動など、良き伝統を大切にし、失うことなく次の世代に引き継ぎ、「三農魂」というたすきを三本木農業高校から三本木農業恵拓高校へと受け渡すことができました。

現在は、植物科学科、動物科学科、環境工学科、食品科学科に普通科2クラスを加えて5学科6クラスで構成されるという、県内唯一、農業の学科と普通科を併置する高校にリニューアルし、この3月に、最初の卒業生を送り出すことになります。

ところで、本校教育の根本精神を表す言葉として「未来拓創」を校是として定めました。これは、本校での学びを通して、生徒が未来に向かって自らの道を拓き、創っていくことが、地域を拓き、創ることにつながるとの思いを込めたものです。また、「みらいたくそう」の音の響きには、本校で学ぶ生徒たちに、地域や青森県の未来を、そして日本の未来を託す、という思いも込められているのです。

ですから生徒たちには、未来で羽ばたくための準備として、三農生活で勉強や部活動など多くのことにチャレンジして、志とともにしなやかな心をもつ大人になってもらいたいと願っています。

しかしながら、今日の社会は、情報技術の飛躍的な発展により高度な思考や判断を求められたり、予想もできない様々なことが生じることから、生徒の夢や進路実現に向けては不安を抱えているのが実情です。本校同窓生は多種多様なお仕事に就かれていて、活躍されていると聞いておりますので、どうかいろいろな場面で後輩にお力添え賜りたく、お願い申し上げます。

結びに、引き続き三農の良き伝統を受け継ぎながらさらなる発展を期し、今後も地域に愛され、信頼される、魅力ある学校づくりに努めてまいりますので、同窓会の皆様にも本校の教育活動に、ご支援とご協力をいただければ幸いに存じます。

二年ぶりの全校田植え

令和5年5月24日(水)全校田植えが開催された。全校田植えは昨年コロナの影響で中止となっており、二年ぶりの開催となった。また、三農恵拓高校が3学年そろって初めての開催となり、普通科を含めた5科6チーム対抗戦となった。また、今年度はヴァンラーレ八戸FCゼネラルマネージャー熊谷浩二さん（平成5年度農業土木科卒）と2名のスタッフ、マスコットキャラクターのヴァン太くんが参加した。二年ぶりの開催ということもあり、1年生は勿論、2年生も初めての全校田植えで、各チーム3年生がリードし、競技が行われた。今年度の優勝チームは植物科学科であったが、各チーム悪戦苦闘しながらも、丁寧な作業で水田に苗がきれいに並び植えられていた。生徒は一様に達成感に満ちた表情をうかべていた。全校田植えに続き、マッドフラッグが行われ、総勢150名が参加した。25m先の旗を目指し、泥まみれになりながら水田を走る参加者に多くの歓声がわいた。

「青森と台湾の高校生による協働学習プログラム」～台湾訪問～

令和5年9月4日(月)～7日(木)の3泊4日で、本校生徒8名と校長、引率教諭2名で台湾を訪れた。これは、本校生徒と台湾の高校生が、お互いの地域の文化や特徴について学び合い、その違いについて比較することで地域の可能性や課題、またその解決方法を探ることを目的として実施された。事前に十和田市在住の黄さんを講師に招き台湾についての勉強会の実施や5回のオンライン交流で、お互いの地域について理解を深めた。

台湾訪問では、松山高級工農職業学校の生徒と交流、授業見学やものづくり体験を行ってきた。参加した生徒は、交通事情や食文化など日本との違いを体験できたことや台湾の高校生の語学力の高さに驚かされたと感想を述べていた。

「いのちの花」芸術鑑賞会

10月10日(火)十和田市民文化センターにおいて、劇団銅鑼による「いのちの花」の公演が開催された。この演劇は、動物科学科の「ペット殺処分ゼロを目指した活動」である「命の花プロジェクト」を題材としたもので、2017年から上演されてきた。今年度をもって上演が終了することから、十和田市での公演が行われることとなった。今回は同窓会東京支部の協力もあり、全校生徒が観劇する運びとなった。三農を題材とした演劇ということもあり、生徒達は真剣な表情で観劇していた。公演終了後には、生徒を代表し、生徒会副会長の田中羽夢さんが花束を贈った。

高橋・山崎両教頭が着任

高橋　美和子　教頭

八戸市内の普通高校での勤務歴が長く、前任の学校教育課では、主任指導主事を2年間務めた。初任の三本木高校での勤務以来、24年ぶりの十和田市勤務となる。

担当教科が国語科。

山崎　邦彦　教頭

前任校の名久井農業高校には、10年間勤務。以前、本校職員として15年間勤務し、農業機械科主任や教務部を担当。相撲部監督として、地元開催の十和田・弘前全国大会で団体優勝、平成24年長現在活躍している阿武咲関・錦富士関とともに団体優勝を果たした。野インターハイでは、

三農同窓会会報への協賛をいたします
池畑守税理士事務所
三農東京同窓会 顧問
税理士 池畑　守（昭和35年度 畜産科卒）
税理士 池畑浩次
〒116-0003 東京都杉並区高円寺南4-5-5 河村ビル2F
TEL 03-5929-7929　FAX 03-5929-7962

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会会報への協賛をいたします
三農東京同窓会
会長　馬場　建一
（昭和43年度 畜産科卒）
事務局:〒107-0052　東京都港区赤坂8-12-22-203　松橋正一　方
TEL 03-3479-1023　FAX 03-3479-1056　mobile 090-6946-5372

JA十和田おいらせ
ファーマーズ・マーケット　かだぁ～れ
〒034-0001十和田市大字三本木字里ノ沢41 TEL. 0176-51-4020　FAX. 0176-51-5390
営業時間：9：00～18：00　定休日：毎月第2水曜日
十和田おいらせ農業協同組合
代表理事組合長
畠山　一男
（昭和48年度 畜産科卒）
ほか役職員一同
〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28
TEL. 0176-23-0311　FAX. 0176-24-1829

介護と保育は　生きがいグループ　へお任せください
代表　山端　政博
（昭和43年度 農業科卒）
社会福祉法人　生きがい十和田　https://ikigai-towada.net/
特定非営利活動法人　生きがい十和田　http://ikigai-towada.org/
定期巡回・随時対応型訪問介護看護　ヘルパーステーション　訪問看護ステーション
看護小規模多機能型居宅介護　居宅介護支援事業　通所介護事業　住宅型介護事業
タクシー事業　保育事業　訪問入浴　生活介護　共同生活援助
生きがいグループ本部 十和田市東三番町1-6　TEL 0176-25-5678

有限会社 谷島電気
代表取締役　谷島明裕
（平成12年度 農業機械科卒）
〒034-0052
青森県十和田市大字藤島字小山35-1　電話 0176-28-3148

黒にんにくとにんにく取り扱い
株式会社 たから
代表取締役社長
宝田　喜美男
（昭和45年度 畜産科卒）
〒039-0313 青森県三戸郡田子町大字茂市字佐内田15-3
TEL 0179-20-8550・FAX 0179-20-8551
ホームページ http://takara229.com

認知症対応型共同生活介護事業所
グループホーム クローバー
〒033-0051 三沢市古間木二丁目181-13
TEL.0176-58-5354　FAX.0176-51-0339
有限会社 堀企画
代表取締役　堀　光雄（昭和43年度 農業科卒）
〒033-0022 三沢市三沢字園沢219-427
TEL・FAX 0176-54-2507

造林・造材・造園土木一般請負業
葛西産業株式会社
代表取締役　葛西徹也（昭和59年度 農業科卒）
〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駮字穴沢24
TEL 0175-72-2955　FAX 0175-72-3515
E-mail：kasataku@r20.7-dj.com

かごしま国体

国体

10月7日～17日鹿児島県で開催された国民体育大会アーチェリー競技に本校から沼尾大輝と増田心結が出場した。

男子団体は、白戸（八工大一）と阿部（青森山田）とチームを組んで出場した。予選10位で決勝トーナメントに進んだ。決勝トーナメント1回戦埼玉県に勝利し、準々決勝、岐阜県に惜しくも敗れたものの7位入賞を果たした。

女子団体戦では、大向（名農）、福士（青森山田）と共に出場。予選を5位通過した。決勝トーナメント1回戦、山口県との対戦では、延長戦の末惜しくも敗れた。

少年女子個人では、増田が6位入賞と好成績を収めた。

増田さんは、「大会前日から調子がよかった。しかし、思った以上に調子がよすぎ、逆に的に入らなかったらどうしようという不安が襲い、的を射る手が震えるほど緊張した」と大会を振り返った。高校生活最後の大舞台で結果を残してくれた。

北海道総体 2023

インターハイ

令和5年度全国高等学校総合体育大会「翔び立て若き翼 北海道総体2023」が北海道札幌市を中心に、北海道立総合体育センターにおいて、7月22日から開催された。本校からは相撲部、アーチェリー部の2名が県代表として出場した。

8月4日～6日北海道北斗市の北斗市総合体育館で開催された相撲競技では、植物科学科2年川口正太郎が個人80kg級に出場した。

準々決勝で、今大会優勝を飾った山城（秋田北鷹）に、つきおとしで敗れたものの、5位という好成績を収めた。

また、8月9日～10日に北海道帯広市の森陸上競技場で開催されたアーチェリー競技では、男子個人に環境工学科3年沼尾大輝が出場し、入賞は逃したものの、9位と好成績を収めた。

東北大会

アーチェリー男子個人 優勝　沼尾大輝

令和5年度第41回東北高校アーチェリー選手権大会が令和5年6月23日(金)～24日(土)福島県三春町営グラウンドで開催された。個人戦に出場した沼尾は、予選リーグ3位で決勝ラウンドに順調に勝ち進み、決勝でも2ポイントの差をつけ優勝を飾った。

◎相撲部

【団体】
3位（田中、岡崎、中村、佐藤、川口、三浦）

【個人】
選手権　3位　佐藤駿耶
80kg級　ベスト8　川口正太郎

◎ラグビー部

Ⅱ部　4位

◎馬術部

【団体戦】
障害飛越（日澤実花、上澤太陽、名久井功汰）
代表決定戦敗退

県高校総体

◎陸上部

【男子】
1500m　第6位　木村優太
3000mSC　第3位　小川隼登
第6位　寺尾悠陽

【女子】
2000mSC　第2位　田村十萌
400mH　第7位　浪岡玲奈
3000m　第8位　田村十萌

◎バスケットボール部

【男子】
1回戦　三農64―59青森
2回戦　三農84―88弘前

【女子】
2回戦　三農103―66青森南
3回戦　三農107―77工大二
準々決勝　三農51―83八学光星
第5出場枠決定戦　三農54―67八戸西

◎バレーボール部

【男子】
1回戦　三農0―2青森出田

【女子】
1回戦　三農0―2青森商業

◎卓球部

【男子団体】
1回戦　三農2―3弘前南

【女子団体】
2回戦　三農3―2百石
3回戦　三農0―3弘前実業

◎ソフトテニス部

【男子団体】
1回戦　三農3―0百石
2回戦　三農0―3明の星

【女子団体】
1回戦　三農0―3青森北

◎サッカー部

2回戦　三農2―0八戸工
3回戦　三農1―0青森高
準々決勝　三農1―2八戸工大一

◎女子サッカー部

1回戦　三農1―0三沢
準決勝　三農1―2八工大二
3位決定戦　三農0―2三本木

◎ラグビー部

準々決勝　三農55―5八戸西
準決勝　三農7―38青森北
3位決定戦　三農59―10八学光星

《東北大会出場》

◎バドミントン部

【男子団体】
1回戦　三農3―0八戸
2回戦　三農3―2青森北
3回戦　三農3―2青森
準々決勝　三農0―3東奥学園

【女子団体】
1回戦　三農3―1黒石
2回戦　三農0―3東奥学園

◎相撲部

【団体】第2位

【個人】
選手権　第4位　佐藤駿耶
個人体重別80kg級　優勝　川口正太郎
第2位　三浦孝太
個人体重別100kg級　第2位　田中智宏
一年生大会　優勝　岡崎良太郎
第2位　三浦孝太

【女子個人】
女子個人選手権　第2位　新井田未徠

◎柔道部

【男子個人】
81kg級　1回戦敗退

◎剣道部

【男子団体】予選敗退
【女子団体】予選敗退

◎アーチェリー部

【男子個人】
第1位　沼尾大輝

【女子団体】
第4位

【女子個人】
第6位　増田心結

◎馬術部

【団体】
第1位　三本木農業
恵拓高校A
第2位　三本木農業
恵拓高校B

【個人】
基本技術A―1（クロス障害飛越）
第1位　上澤太陽
第2位　日澤実花
第3位　名久井功汰
基本技術A―2（ジムカーナ）
第1位　伊藤紗弥香
第2位　小笠原衣織
第3位　村居尚生

進路状況

今年度は、進学予定者62.1％、就職希望者37.9％の割合であった。昨年の進学希望者は47.6％で、大幅に増加した。普通科の進学者が7割弱、動物科学科が約9割と学校全体の進学率を高めることにもなった。また、就職では90％が県内就職であり、卒業生には地域の担い手として大いに活躍することを期待している。

進学		就職	
国公立大	10人	県内就職	50人
私立大	35人	県外就職	7人
短期大学	6人	公務員	7人
専門学校等	59人	その他	7人
合計	110人	合計	71人

R6.1.25現在

第44回青森県総合文化祭 弁論部門 最優秀賞

10月14日、八戸市で開催された第44回青森県総合文化祭、弁論部門に本校代表として山田結子が出場した。

「日本のトイレの危険性」と題し、現在の公衆トイレの構造についての改善点、また、犯罪防止について自身の意見を発表した。この発表で最優秀賞を受賞し、来年度岐阜県で開催する全国高等学校総合文化祭の出場の切符を手に入れた。

山田さんは、「練習の成果が出せ、悔いのない発表ができた。指導してくださった先生に感謝している」と喜びと感謝を述べていた。また、来年の全国高総文祭に向け、「表現力を上げ、多くの人に私の意見を聞いてもらいたい」と意欲を見せている。

特定建設業《土木工事・建築工事・舗装工事》
杉村建設工業株式会社
取締役会長　杉村　陽太郎
（昭和34年度 農業土木科卒）
〒039-2243　青森県八戸市松ヶ丘19番地30
TEL(0178)28-8204　FAX(0178)28-8291
E-mail：sugimurakensetu@yacht.ocn.ne.jp

三八五引越センター
暮らしを運び
豊かさを届ける
MIYAGO
0120-01-0385

島守そば生産組合
代表　冷水　保
（昭和41年度 農業科卒）
〒031-0202　八戸市南郷大字島守字下荒谷18
TEL・FAX兼用　0178(83)2751

―大地に根ざしたふるさとづくり―
株式会社 中綱組
〒034-0026
青森県十和田市東六番町2番36号
TEL 0176-23-7175 / FAX 0176-23-7173
E-mail nakatuna@sweet.ocn.ne.jp
ホームページ https://nakatuna.com

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会報への協賛をいたします
三農同窓会 三沢支部
支部長　沖沢　一
（昭和38年度 農業土木科卒）

青森三八五流通
代表取締役社長　宮古　武
（昭和50年度 農業科卒）
青森本店 青森地区　TEL 017-787-3342
〒038-0042 青森県青森市新城字平岡160-576
青森本店 八戸地区　TEL 0178-27-4210
〒039-1189 青森県八戸市大字長苗代字上中坪35-1

FUKUMAN
ワクワクする地域社会を建設する
新新な建設会社であり続ける

農業生産法人 有限会社 ナチュラルファーム
お届けします、安心野菜。
代表取締役　山本　政義
（昭和50年度 園芸科卒）
〒039-2189 青森県上北郡おいらせ町青葉3丁目50-1641
TEL 0176-50-1850　FAX 0176-50-1855
Eメール natural-f@k4.dion.ne.jp

青森県立三本木農業高等学校同窓会
三農同窓会報への協賛をいたします
三沢市職員三農同窓会
会員一同

未来から感謝されるモノづくり
株式会社 田中組
代表取締役　田中　俊次
本社：青森県十和田市大字三本木字本金崎230番地1
TEL 0176-23-3536　FAX 0176-25-2976
営業所：三沢・弘前

2部門4分野で優秀賞受賞

10月25～26日、第74回日本学校農業クラブ連盟全国大会熊本大会が、熊本城ホールを中心に8会場で開催された。

本校からは、県大会、東北大会を勝ち抜いた意見発表会、平板測量競技会と農業鑑定競技会の3部門に出場した。

意見発表会では、「エコフィードの可能性と有効活用」と題して、食品残さ等を利用し、製造された飼料の活用について発表した。全国大会では10年ぶりの入賞を果たした。優秀賞を獲得した森崎さんは、「緊張したが、全てを出し切ることができた。各ブロック代表の発表を聞けたこともよい経験になった」と感想を述べた。

農業鑑定競技会では、3分野で優秀賞を受賞した。『分野・食品』で優秀賞を受賞した日澤さんは「夏休みからコツコツ勉強し、先生方からサポートしてもらいながら取り組むことができた。今回の入賞は自分にとって自信に繋がった」また、『分野・農業土木』で優秀賞を受賞した稲田さんは「会場での独特の緊張感や待ち時間の不安や焦りなどは、この機会でしか感じることの出来ないもので良い経験になったと思う。2年生でこの経験ができたことに感謝し、次に繋げるよう頑張りたい」『分野・農業』で優秀賞を受賞した山田さんは、「昨年優秀賞を受賞し今年こそ必ず最優秀賞を取ると心に決めて取り組んできた。来年は、これまで手伝ってくれた友達や先生方への感謝を、最優秀賞を取って表します！」と感想や来年に向けての抱負を述べていた。

○優秀賞
意見発表会分野Ⅰ類
森崎祐世
農業鑑定競技会
分野・農業
山田結子
分野・農業土木
稲田智也
分野・食品
日澤実花

第22回全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト　審査員奨励賞受賞

10月28～29日、第22回全国高校生フラワーアレンジメントコンテストが福井県中小企業産業大学校で開催された。

今年度は、青森県学校農業クラブ連盟大会で上位2名が出場し、本校から青森県代表として向井優李さんが出場した。

今回のテーマは、「未来の輝石」。向井さんは「未来に向かって」というコンセプトで作品を制作し、見事審査員奨励賞を受賞した。

第74回日本学校農業クラブ東北連盟大会　意見発表会　全国大会へ

8月24～25日、第74回日本学校農業クラブ東北連盟大会岩手大会が、盛岡市民文化ホール、岩手県民情報交流センター、盛岡農業高等学校、花巻市総合体育館、くずまき高原牧場チャレンジハウスの5カ所で開催された。

本校からは県大会を勝ち抜いた4部門25名が参加し、意見発表会分野Ⅰ類で最優秀賞を獲得し全国大会出場の切符を手に入れた。

プロジェクト発表に出場した鈴木さんは、「順番が来るまではとても緊張し不安だったが、仲間と何度も練習してきたので、本番は自信を持って発表することができた」と感想を述べていた。

◎最優秀賞
意見発表会分野Ⅰ類
森崎祐世

第74回青森県学校農業クラブ連盟大会　最優秀賞 5部門獲得

6月22～23日に第74回青森県学校農業クラブ連盟大会が柏木農業高等学校を主会場として開催された。また、家畜審査競技会は、7月14日、独立行政法人家畜改良センター奥羽牧場で開催された。本校は、プロジェクト発表会分野Ⅰ類、意見発表会分野Ⅰ類、平板測量競技会、クラブ活動紹介発表会、農業情報処理競技会の5部門で最優秀賞を受賞した。

クラブ活動紹介発表で最優秀賞を受賞した蛯名さんは、「三農の農ク活動を他校に広めることができた。また、他校の農クがどんな活動や役員にどんな影響を与えているのか学ぶことができた。昨年は優秀賞と悔しい思いをしたので、それをばねに頑張ることができた」と喜びを語った。家畜審査競技会に参加した上澤さんは、「初めての出場で緊張した。牛の評価する点がたくさんあり難しかった」と感想を述べた。

◎最優秀賞
プロジェクト発表会分野Ⅰ類
「高オレイン酸とヒマワリ種子飼料化プロジェクト」
村居尚生、鈴木虹花、小笠原衣織、阿部正英、三浦凱斗、阿部柑太、川村大慈、小林寧々香、下久保美優
意見発表会分野Ⅰ類
森崎祐世
クラブ活動紹介発表会
「未来への軌跡～後世に繋ぐ農ク活動～」
佐々木麻衣、沼端隼矢、蛯名しぇら、小塚大輝、天摩幸輝、北澤葵、漆坂光、萠出あすか、小村陸駆、濱田智奈
平板測量競技会
Aチーム（吉田雄駕、泉智大、佐藤陽菜、松林理子）
農業情報処理競技会
芋田さくら

○優秀賞
フラワーアレンジメント競技会
向井優李
プロジェクト発表会分野Ⅱ類
「規格外農作物を活用した農産加工品の開発」
高谷愛琉、赤澤心美、白石楓、中野美沙希、太田路人、乙供琉治、杉山和也、浪岡悠月、西山優真、芋田さくら
平板測量競技会
Bチーム（村下海仁、田澤悠羽、安ヶ平志毅）
家畜審査競技会
上澤太陽

自然との共生を図る
造園・土木・石工事
釜淵造園建設株式会社
代表取締役　釜淵一壽
〒039-0201 青森県三戸郡田子町大字田子字七日市44番地
TEL(0179)32-2510　FAX(0179)32-4128
E-mail：Kamabuti@hi-net.ne.jp

一般社団法人 日本種苗協会 加盟店
会員番号：02-017号
シードアドバイザー（種苗管理士）のいる店
長芋、ニンニク種子、資材をはじめ、
花・野菜種子・苗
なども取り扱っております。どうぞご用命ください。
吉田種苗株式会社
取締役会長　吉田　譲
（昭和42年度 畜産科卒）
〒039-2203 青森県上北郡おいらせ町一川目3丁目340
TEL:0178-52-6509（店舗）　FAX:0178-52-6525

田中建設株式会社
TANAKA Construction Co.,Ltd.
同窓生一同

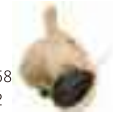
渡部 誠	（昭和53年度卒）	西野 誠一	（昭和52年度卒）
小笠原 和臣	（昭和58年度卒）	豊川 正幸	（昭和60年度卒）
工藤 光子	（平成2年度卒）	藤田 泰治	（平成5年度卒）
太田 憲人	（平成7年度卒）	豊川 英徳	（平成9年度卒）
今泉 勇利	（平成28年度卒）	沼口 蓮	（令和元年度卒）
和島 拓弥	（令和2年度卒）	新山 美景	（令和4年度卒）

90th

南部シビルコンサルタンツ株式会社
代表取締役　戸來　敏夫
（昭和48年度　畜産科卒）
〒034-0033 青森県十和田市東五番町7-3-2　TEL0176-22-9575

空を愛し、海を愛し、山を愛する
そして何より、人を愛する
田中建設工業株式会社
代表取締役社長　田中　進
〒034-0002 青森県十和田市元町西二丁目12番1号
TEL 0176-23-3325　FAX 0176-23-1870
E-mail：master@tanaka-kenko.jp
https://www.tanaka-kenko.com

農業生産法人
有限会社 柏崎青果
代表取締役　柏崎 瑞貴
（平成4年度 農業科卒）
〒039-2127　青森県上北郡おいらせ町木崎158
TEL　0178-56-5030　FAX　0178-56-5432



有限会社
華コーポレーション
代表取締役　柏崎 瑞貴
（平成4年度 農業科卒）
〒039-2127
青森県上北郡おいらせ町木崎158
TEL　0178-56-5051　FAX　0178-56-5432

令和５年度 同窓会総会
～４年ぶりの懇親会開催～

令和５年６月24日(土)、サン・ロイヤルとわだにおいて、80名の参加者のもと、令和５年度三農同窓会・懇親会が開催された。

物故者への黙祷のあと、同窓会副会長角氏の開会宣言、蛯沢正勝同窓会長、中村豊校長のあいさつをいただき、総会が始まった。議長は、事務局より副会長澤谷則雄氏の提案があり、満場一致で決定した。議事録署名者には、三農職員の佐々木篤、中野貴寛が事務局の指名で選出された。

報告第１号令和４年度事業実績報告、報告第２号令和４年度収支決算報告について事務局より報告された。続いて報告第３号監査報告について、監事の前山敏昭氏から適正に処理してあることが報告された。

議案第１号令和５年度事業計画について、事務局が説明。主な事業については例年に準じて行うことと、10月10日に実施する生徒芸術鑑賞会で劇団銅鑼の「いのちの花」を実施する際、同窓会でも支援することを提案した。

議案第２号令和５年度収支予算(案)では、議案第１号で提案した生徒芸術鑑賞会への支援のため、事業費に計上することを提案した。各議案について、異議なしで了承された。

議案第３号青森県立三本木農業高等学校・青森県立三本木農業恵拓高等学校同窓会役員改選は、蛯沢正勝会長が勇退することで、新たに斗沢栄一氏（昭和40年度・農業科卒）が選出され、副会長には新たに東京支部の馬場建一氏（昭和43年度・畜産科卒）、十和田湖支部の斉藤重美氏（昭和49年度・土木科卒）が加わることが満場一致で承認された。

令和４年度三農同窓会報については、事務局より、昨年度の協賛広告に33枠の協力をいただいたこと、昨年度まではコロナの影響で活動が制限されたこともあり２面の会報であったものを従来の４面に戻し発行するとの説明があった。

本部運営協力金についてはこれまでの協力のお礼と、引き続き本部への協力の依頼があった。

その他、支部組織運営の円滑化を図るために住所等のデータを利用規則に則り譲渡していくことが説明された。また、出席者からは総会の開催日について、変更できないかと要望があった。例年開催されている時期であれば、ニンニク農家にとって多忙な時期でもあることが理由である。また、東京支部松橋事務局長より各支部の活動補助を本部から拠出できないか。と言う要望が出されたが、この場で諮ることは難しく、役員会等で議題に挙げ検討していくことにした。以上で議事は終了し、澤谷議長は解任された。角副同窓会長の閉会宣言で総会は滞りなく終了した。

懇親会は、コロナが５類になった今年、４年ぶりに開催された。同時に開催された同期会は、昭和46・56年度、平成３年度卒業生が参加し、同級生や学級担任との久々の再会に有意義な時間を過ごした。参加者には、三農米、三農タオルが配られた。

令和６年度 三農同窓会
総会・懇親会・同期会

令和6年6月8日(土)
サン・ロイヤルとわだ

同期会　昭和47年度、昭和57年度、平成4年度卒
受　付　14：30～
総　会　15：00～
懇親会　16：00～

三農同窓会 新役員

会　長	斗沢　栄一	(切　田)
副会長	松山　和義	(むつ・下北)
副会長	角　光利	(おいらせ)
副会長	冷水　保	(八　戸)
副会長	馬場　建一	(東　京)
副会長	斉藤　重美	(十和田湖)
副会長	澤谷　則雄	(三本木)
監　事	前山　敏昭	(四　和)
監　事	稲田　優憲	(藤　島)

三農同窓会 支部総会報告

東北支部
4月15日(土)郷土料理「蔵」にて東北支部総会が開催された。総会では、会務報告、収支決算、監査報告があり、満場一致で承認された。

総会後、東北支部と上北支部の合併に伴う、新たな東北支部の設立総会が開催された。会則、役員の選出、令和５年度の予算案等、事業計画が提案され異議なしで了承された。

むつ・下北支部
6月9日(金)むつグリーンホテルにて支部総会が4年ぶりに開催された。事業報告および収支決算の報告、事業計画案、収支予算案について支部事務局より提案があり、承認された。その後、懇親会が開催され、近況報告や高校時代の話に華を咲かせた。

八戸支部
8月26日(土)八戸グランドホテルにおいて支部総会が開催された。事業計画案、予算案について提案され、出席者の異議なく承認された。その後、懇親会が開かれた。

東京支部
9月3日(日)アルカディア市ヶ谷で第49回総会が開催された。事業報告・会計報告、役員改選が行われた。支部長は引き続き馬場建一氏が、事務局長には松橋正一氏が選出された。総会終了後には懇親会が開かれ、野月隆志氏の演奏で歌手の松橋義直氏の歌や、ニンニクのつかみ取り等の催しが行われた。

令和５年度　収支予算

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月31日

1　一般会計

収　支　　単位：円

収入額	支出額	残　額
3,949,000	3,949,000	0

収入の部　　単位：円

項　目	4年度予算額	5年度予算額	増減(△)	備　考
繰越金	1,137,477	1,500,159	362,682	
会費	1,874,000	1,898,000	24,000	1･2学年@3,000円×390人 3学年@4,000円×182人
負担金	320,000	310,000	△ 10,000	支部からの本部運営協力金(1支部減)
協賛広告料	240,000	240,000	0	同窓会報協賛広告料
雑収入	523	841	318	預金利息
合　計	3,572,000	3,949,000	377,000	

支出の部　　単位：円

項　目	4年度予算額	5年度予算額	増減(△)	備　考
1 事務費	165,000	200,000	35,000	
イ 事務用品	50,000	60,000	10,000	請求用紙、卒業ｱﾙﾊﾞﾑ他
ロ 通信費	50,000	70,000	20,000	各支部案内発送切手代他
ハ 印刷費	5,000	10,000	5,000	会長名刺印刷代
ニ 報償費	60,000	60,000	0	会計係員手当
2 会議費	300,000	320,000	20,000	総会会場費他
3 旅費	430,000	550,000	120,000	各支部総会旅費他
4 交際費	200,000	210,000	10,000	各支部総会お祝他
5 事業費	1,649,000	1,820,000	171,000	同窓会報印刷・発送代他
6 慶弔費	100,000	100,000	0	香典、生花他
7 記念品費	190,000	210,000	20,000	入会記念品1,000円×182人
8 周年事業積立金	500,000	500,000	0	
9 予備費	38,000	39,000	1,000	
合　計	3,572,000	3,949,000	377,000	

※各項目の流用を認める。

2　特別会計

周年事業積立金　　単位：円

項　目	金　額	備　考
令和４年度までの累計	3,350,848	
令和５年度積立金	500,000	
雑収入	152	預金利息
合　計	3,851,000	

令和４年度　収支決算報告

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

1　一般会計

収　支　　単位：円

収入額	支出額	残　額
3,458,495	1,958,336	1,500,159

収入の部　　単位：円

項　目	4年度予算額	4年度決算額	増減(△)	備　考
繰越金	1,137,477	1,137,477	0	
会費	1,874,000	1,871,000	△ 3,000	
負担金	320,000	120,000	△ 200,000	支部からの本部運営協力金
協賛広告料	240,000	330,000	90,000	同窓会報協賛金
雑収入	523	18	△ 505	預金利息他
合　計	3,572,000	3,458,495	△ 113,505	

支出の部　　単位：円

項　目	4年度予算額	4年度決算額	残超(△)	備　考
1 事務費	165,000	100,962	64,038	
イ 事務用品	50,000	10,640	39,360	卒業アルバム他
ロ 通信費	50,000	30,322	19,678	各支部案内発送切手代他
ハ 印刷費	5,000	0	5,000	
ニ 報償費	60,000	60,000	0	会計手当
2 会議費	300,000	99,134	200,866	総会補助他
3 旅費	430,000	232,410	197,590	本部役員会旅費他
4 交際費	200,000	67,000	133,000	各支部総会お祝
5 事業費	1,649,000	737,430	911,570	会報印刷、発送料、葉書代他
6 慶弔費	100,000	45,000	55,000	香典、生花代
7 記念品費	190,000	176,400	13,600	入会記念品
8 周年事業積立金	500,000	500,000	0	周年事業積立金へ
9 予備費	38,000	0	38,000	
合　計	3,572,000	1,958,336	1,613,664	

※各項目の流用を認める。

2　特別会計（周年事業積立金）

収　支　　単位：円

収入額	支出額	残　額
3,350,848	0	3,350,848

収入の部　　単位：円

項　目	4年度予算額	4年度決算額	増減(△)	備　考
令和3年度までの累計	2,850,821	2,850,821	0	
令和4年度積立金	500,000	500,000	0	
雑収入	179	27	△ 152	預金利息
合　計	3,351,000	3,350,848	△ 152	

天間林支部
支部長工藤省三氏がご逝去され、支部長不在であったため、今年度天間林支部において、書面による支部役員の改選が行われ、支部長に天間一博氏（昭和47年度農業科卒）、事務局長に上原子勇一氏（昭和49年度畜産科卒）が就任した。

田子支部
11月18日(土)池田ファームにて支部総会が開催された。事業報告、事業計画に続き、役員改選が行われ、支部長に藤村一豊氏（昭和51年度畜産科卒）、事務局長に栗木利章氏（昭和54年度園芸科卒）が選出された。

新郷支部
1月27日(土)えびす屋にて支部総会が開催された。令和５年度の報告、令和６年度の予算案、事業計画について審議し承認された。

叙勲

令和５年春の叙勲
瑞宝単光章　馬場　均
瑞宝単光章　豊川　泰市

令和５年青森県褒賞
坂本　進
畠山　賢悦

三農同窓会報への協賛をいたします
十和田市農業委員会
会　長　箕輪　展忠（昭和48年度　農業科卒）
会長職務代理者　外山　康仁（昭和57年度　農業科卒）

建設コンサルタント
株式会社 出雲
代表取締役　相田　喜一郎
常務取締役　新堂　政則
・建設コンサルタント登録　・測量業登録
・補償コンサルタント登録　・一級建築事務所登録
本　社　青森県三沢市南山１丁目129－７
〒033-0151　TEL：0176-53-3440　FAX：0176-53-8534

社会の「和」を大切に地域と共に歩みます
丸井重機建設株式会社
代表取締役　丸井哲人
本　社　〒034-0001　青森県十和田市大字三本木字千歳森357-1
TEL. 0176-23-4211　FAX. 0176-23-4939
http://www.marui-jk.co.jp
青森支店・八戸支店・盛岡支店・仙台支店・郡山支店・秋田営業所

挑戦し続けるプロフェッショナルな人材育成
中沢水道設備工業株式会社
代表取締役会長　中沢　豊美　昭和39年度 農業科卒
〒034-0001　青森県十和田市大字三本木字西金崎94-2
TEL. 0176 (22) 3695　FAX. 0176 (22) 3770

「世界かんがい設備遺産」登録
稲生川土地改良区
〒034-0011　青森県十和田市稲生町１番36号
TEL:0176-23-5066(総務課)
TEL:0176-23-3293(工事課)
FAX:0176-23-3940
E-mail:info@inaoigawa.or.jp
副理事長　山崎　誠一　(S37年度　農業科卒)
会計担当理事　畠山　寿　(S42年度　農業科卒)
理事　種市　廣　(S43年度　畜産科卒)
理事　四木　俊一　(S44年度　農業科卒)
理事　杉山　秀明　(S45年度　農業科卒)
理事　長根　栄一　(S48年度　農業科卒)
理事　立崎　守　(S50年度　農業科卒)
職員　木村　繁夫　(S56年度　農業土木科卒)
〃　山口　秀勝　(H 3年度　農業土木科卒)
〃　荒岡　工　(H10年度　農業土木科卒)
〃　小田和正　(H18年度　農業土木科卒)
〃　八嶋　諒　(H23年度　農業土木科卒)
〃　沢目　聖怜　(R 4年度　環境土木科卒)

MICHINOKU LANDSCAPE INC.
株式会社みちのく庭園
〒039-1161　青森県八戸市大字河原木字簀子渡15番地3
TEL：0178(28)0130(代)　FAX：0178(20)1217
E-mail：mitinoku-teien@an.wakwak.com
代表取締役　橋本　静一
(昭和39年度 農業科卒)

上北建設株式会社
青森県立三本木農業高等学校同窓生一覧

≪信頼と確かな技術の総合建設業≫
ISO品質・環境認証企業
株式会社 三村興業社
代表取締役　小笠原　國男　昭和36年度卒 商業科
本　社　上北郡おいらせ町下明堂30の10　Tel 0178-52-5751
一級建築設計事務所
八戸営業所　八戸市大字市川町字稲荷岱43の2　Tel 0178-52-5131